

- 1 江戸時代、清との貿易を管理するため、長崎に設置された中国人居住地を何という？
- 2 江戸時代初期、現在のどこの国のアユタヤに渡り、朱印船貿易で活躍した日本人がいた？
- 3 江戸時代に商人が幕府や藩から許可を得て、特定商品の販売を独占した同業者の組合を何という？
- 4 天保の改革を主導し、1842年に薪水給与令を出した当時の老中は誰？
- 5 紀元前6世紀ごろの中国で、身分の秩序や仁を重んじる教えを説き、後の東アジア思想に強い影響を与えた人物は誰？
- 6 江戸時代初期に、海外渡航を許可するために朱印を押した公文書を発行した将軍は誰？
- 7 1637年に始まった島原・天草一揆において、一揆軍が最後まで立てこもった城を何という？
- 8 江戸時代、元禄文化が特に栄えた大坂や京都を中心とする地域を何という？
- 9 江戸幕府が、主従関係や上下の秩序を重んじる思想として奨励し、身分制度の支柱とした学問を何という？
- 10 17世紀のイギリスで、国王の権力を制限するために制定された法律のきっかけとなった、無血の革命を何という？
- 11 江戸時代、株仲間などが営業の対価として幕府に上納した税金のことを何という？
- 12 武家諸法度を整備し、幕府の支配体制を確立した江戸幕府の三代将軍は誰？
- 13 江戸時代、幕府の財政基盤を支えるために、幕府が直接支配していた土地（旗本領を含む）が日本全体の総石高の約何%を占めていた？
- 14 弥次郎兵衛と喜多八の二人が旅をする様子を面白おかしく描いた、十返舎一九の代表作を何という？
- 15 鎖国体制下の江戸時代において、長崎に置かれた対外交流のための人工の島を何という？
- 16 天保の改革において、物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させた老中は誰？
- 17 江戸時代中期、財政再建のために長崎貿易を活発にし、俵物などの輸出を奨励した老中は誰？
- 18 商業の利益を重視し、財政再建策として長崎貿易での海産物輸出を奨励した江戸幕府の老中は誰？
- 19 江戸時代の寺子屋で、主に教えられていた教科内容をまとめて何という？
- 20 権利の章典が制定された後、イギリスで確立された、憲法や法律に基づいて君主が政治を行う政治形態を何という？
- 21 鎖国体制の下、長崎に設置され、オランダとの貿易の窓口とされた人工島を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>唐人屋敷</u> は、中国人の居住地を制限し、密貿易を防ぐために長崎に建設されました。		<u>唐人屋敷</u>	☐
2	現在の <u>タイ</u> にあたる当時のシャム（アユタヤ王国）には、多くの日本人が集まって日本町を築いていました。		<u>タイ</u>	☐
3	同業者組織は、特定の商人グループが幕府等から「専売権」を与えられる代わりに、その対価として冥加金や運上金という税金を納める仕組みでした。		<u>株仲間</u>	☐
4	<u>水野忠邦</u> は老中として、質素倹約の徹底、江戸に流入した農民を農村へ帰す人返しの法、株仲間の解散など、天保の改革を断行しました。		<u>水野忠邦</u>	☐
5	<u>孔子</u> は「仁（思いやり）」や「礼（秩序）」を大切に、家族のきずなや君臣の関係における上下の秩序を重んじました。		<u>孔子</u>	☐
6	初代将軍・ <u>徳川家康</u> は、日本人の海外渡航を許可する証として、将軍の権威を示す赤い印（朱印）を押した許可証を発行しました。		<u>徳川家康</u>	☐
7	島原・天草一揆の際、勢力を拡大した一揆勢は、島原半島にある廃城となっていた <u>原城</u> を修復して立てこもりました。		<u>原城</u>	☐
8	豊臣秀吉の時代から続く商工業の発展に加え、物流の拠点である大坂の経済力を背景に、町人を中心とした華やかな文化が開花しました。		<u>上方</u>	☐
9	<u>朱子学</u> は、儒教の一派で、上下の秩序や主君への忠義、親への孝行などを重んじる思想です。		<u>朱子学</u>	☐
10	この革命は血を流さずに行われたことから「無血革命」とも呼ばれます。		<u>名誉革命</u>	☐
11	<u>運上</u> は「冥加」と並び、株仲間の商人が営業を許可される対価として定期的に納める税金です。		<u>運上</u>	☐
12	三代将軍として、武家諸法度をより厳格にし、大名や朝廷への統制を強めました。		<u>徳川家光</u>	☐
13	「天領」とも呼ばれる幕府の直轄地は、総石高の約 <u>24%</u> を占めていました。		<u>24</u>	☐
14	江戸の町に住む弥次郎兵衛と喜多八が、東海道を歩いて旅をする道中を描いた物語です。		<u>東海道中膝栗毛</u>	☐
15	<u>出島</u> は、長崎の港内に築かれた扇形の人工島です。		<u>出島</u>	☐
16	<u>水野忠邦</u> は、物価が高騰する原因が商人たちの独占にあると考え、株仲間を解散させる政策を行いました。		<u>水野忠邦</u>	☐
17	<u>田沼意次</u> は、老中として商業を積極的に保護・活用する政策を展開しました。		<u>田沼意次</u>	☐
18	<u>田沼意次</u> は老中として、株仲間の結成を認めて税を徴収したり、長崎貿易での海産物などの輸出を奨励したりと、商業を積極的に活用する政策を推進しました。		<u>田沼意次</u>	☐
19	寺子屋では、文字を読むための「読み」、毛筆で書くための「書き」、そして計算のための「そろばん」が教えられました。		<u>読み・書き・そろばん</u>	☐
20	<u>立憲君主制</u> とは、君主が存在するものの、その権力が憲法や議会によって制限されている政治の仕組みです。		<u>立憲君主制</u>	☐
21	長崎に築かれた扇形の人工島「 <u>出島</u> 」は、当初はポルトガル人を隔離するために造られましたが、その後、オランダ商館が移され、鎖国中の唯一のヨーロッパとの窓口となりました。		<u>出島</u>	☐

言えなかった用語ノート